

令和4年度第2回文京区交通安全協議会

議事録

日 時：令和5年3月16日（木）午前10時00分より

場 所：文京シビックセンター24階 第一委員会室

出席者：

【委員】

文京区長	成澤 廣修
文京区土木部長	吉田 雄大
文京区議会議長	田中 としかね
文京区議会副議長	山本 一仁
文京区議会建設委員会委員長	山田 ひろこ
文京区議会文教委員会委員長	品田 ひでこ
文京区教育委員会教育長	加藤 裕一
国土交通省東京国道事務所万世橋出張所所長	磯田 洋一
東京都第六建設事務所所長	城田 峰生
警視庁富坂警察署長	松原 宏
警視庁大塚警察署長	前川 雅信
警視庁本富士警察署長	柴田 延明
警視庁駒込警察署長	大島 栄
東京消防庁小石川消防署長	菅 禎美
東京消防庁本郷消防署長	林田 淳司
本富士交通安全協会会長	深澤 壽一
駒込交通安全協会会長	鳥山 金一郎
町会連合会会長	諸留 和夫
文京区立小学校校長会代表	山口 麻衣
文京区立中学校校長会代表	神山 洋之
文京区立中学校 PTA 連合会代表	大井 明彦
文京区立女性団体連絡会会長	千代 和子
文京区立高齢者クラブ連合会会長	和田 懋
文京区立民生・児童委員協議会代表	中嶋 博

【幹事】

文京区企画政策部広報課長	日比谷 光輝
文京区総務部総務課長	久保 孝之
文京区区民部区民課長	榎戸 研
文京区アカデミー推進部アカデミー推進課長	矢島 孝之
文京区福祉部高齢福祉課長	進 憲司

文京区福祉部障害福祉課障害福祉係長	吉野 隆久 (代理)
文京区土木部管理課長	佐久間 康一
文京区土木部道路課長	村岡 健市
文京区土木部みどり公園課長	吉本 眞二
文京区資源環境部環境政策課長	渡邊 了
文京区教育委員会教育推進部教育総務課長	新名 幸男
文京区教育委員会教育推進部教育指導課長	赤津 一也
文京区教育委員会教育推進部児童青少年課長	石川 浩司
東京都第六建設事務所管理課管理担当統括課長	金澤 雄次 (代理)
警視庁富坂警察署交通課長	口脇 之信
警視庁大塚警察署交通課長	永吉 申二
警視庁本富士警察署交通課長	渡邊 順一郎
警視庁駒込警察署交通課長	山下 宏

会議次第：

- 1 開会
- 2 報告事項
 - (1) 令和4年文京区内交通事故発生状況 (資料第1号)
 - (2) 令和4年秋の文京区交通安全運動の実施結果概要 (資料第2号)
- 3 審議事項
 - 令和5年春の文京区交通安全運動の実施について (資料第3号)
- 4 閉会

配付資料：

令和4年度第2回文京区交通安全協議会資料 一式

- ① 会議次第
- ② 座席表
- ③ 資料第1号 令和4年文京区内交通事故発生状況
- ④ 資料第2号 令和4年秋の文京区交通安全運動の実施結果概要
- ⑤ 資料第3号1 令和5年春の文京区交通安全運動の実施について
- ⑥ 資料第3号2 令和5年春の文京区交通安全運動実施要領
- ⑦ 参考資料1 自転車安全利用五則新旧対照表
- ⑧ 参考資料2 電動キックボードの交通ルールについて
- ⑨ 文京区交通安全協議会規約
- ⑩ 文京区交通安全協議会委員・幹事名簿

議事要旨：

1. 開会

- ・管理課長により開会

2. 議題

- ・成澤会長（文京区区長）より挨拶

（成澤会長（文京区区長））

委員の皆様方には、日頃より、本区の交通安全施策にご理解とご協力いただき、心から感謝申し上げます。

さて、令和4年の文京区内における交通事故の年間死傷者数ですけれども、コロナ禍の中で社会経済活動が徐々に戻り始めた期間ではございますが、年間466人となりまして、前年から29人減少いたしております。死傷者数は、特別区の中で2番目に少ない数字となっております。特別区全体を見ても、死傷者数が前年より減少した区は文京区を含めて3区のみであり、交通安全協議会のメンバーの皆さんたちのご尽力のおかげと改めて感謝を申し上げたいと存じます。

本日は令和4年の交通事故発生状況、そして秋の交通安全運動の実施結果をご報告し、春の交通安全運動の実施内容についてご審議をいただきます。

自転車等が関連する事故への関心が高まる中、昨年10月からは自転車の取り締まりが強化をされ、11月には自転車安全利用五則が15年ぶりに改訂されました。また、道路交通法の改正によりまして今年の4月からは、すべての自転車利用者にヘルメットの着用が努力義務化されております。7月からは、電動キックボードのルールが大きく変更される予定です。

交通安全に関する環境が大きく変化する中ではありますが、第11次文京交通安全計画の目標であります年間の交通事故死傷者数380人以下を達成するために、引き続き皆様のお力添えをお願いいたしますと存じます。

開会にあたりまして一言ご挨拶を申し上げます。

（1）報告事項 令和4年文京区内交通事故発生状況（資料第1号）

- ・事務局より資料第1号の説明

【質疑】

【山田委員（文京区議会建設委員会委員長）】

ご報告ありがとうございました。

今回少なくなったということによかったという点ですが、具体的にどういう取り組みがこの効果を出したのかっていう点を知りたい。例えば、エリア別でこういう取り組みを強化したとか、年齢別でこのようなことをしたとか、そういった点があれば教えていただきたい。

また、目標を380人以下と上げられているとの報告でしたけれども、かなりこれ人数的に大きな目標だと感じます。どのようにして、この目標に近づけていくのかお考えもあわせて教えてください。

（事務局）

事故の減少の理由ですが、なかなかこれというふうにお答えは難しいところです。コロナ禍の中で一時期、かなり減りましたが、社会経済状況が動き出す中で、交通事故も増えて参りました。一方でこの交通安全運動の活動自体も、コロナ禍ではなかなかできないという状況がございま

したが、今はもうほぼ、次の春の交通安全運動では、ほぼ前の状況に戻せるのではないかというふうに思っています。そういった関係で、事故の方も減少しているのではないかと総括的には考えております。

それから、目標については、第10次の改訂版の目標の時に400人以下という目標を立てて、その直前まで行ったということが1点。また、もう一つは東京都の、交通安全計画を基に文京区の計画を作っていますが、東京都の目標の人数から、文京区の数も、380人と設定をしているという状況でございます。

状況的にまだ100人近く差がありますが、交通安全運動などの注意喚起、運転されている方々への注意喚起等のそういった活動を戻していく中で、強化していきたいと考えてございます。

【山田委員（文京区議会建設委員会委員長）】

減った理由というのはわかりました。

コロナの後ということで、そもそも利用者とかが少なかったっていう点もあるのかと。ただ、やはり今回このような目標を掲げていますので、また安全協議会も立ち上げていますので、しっかりとまた取り組みとして、事故が起きやすい場所だったりとか、年齢別だったりとか、そういう視点でフォーカスを当てての取り組みっていうのも、考えていって欲しいと思います。ありがとうございました。

(成澤会長（文京区区长）)

はい。品田文教委員長。

【品田委員（文京区議会文教委員会委員長）】

おはようございます。

私の担当の文教委員会は教育と子育ての関係なのでちょっと子供にフォーカスして、お話ししたいと思います。多分、昨年減ったのは、今お話があったように、コロナの関係だというふうに思いますが、社会活動、経済活動がまた元に戻ると、それだけ人の動きが激しくなるということで、交通事故も多く発生しやすい出現率になるのかなというふうに思っています。

それで、4ページの一番上、幼児・小学生・中学生では、自転車の走行中、乗車中が多いということで、朝は学校の登校については、スクールガードさんとか大人の目が行き届いていると思いますが、下校や習い事塾に行く際に自転車で行く子が目立っているように思います。結構、子供は忙しくて、何時までに塾やお稽古ごとに行かなくちゃいけない。多分、親に自転車で何時になって出発しなさいみたいなこと言われていると思うので。そういうところも含めて、念入りに、子供たちへの注意喚起をしていただければなというふうに思っています。また、学校で廊下は右側通行なのに、道路は左側通行って、子供たちについては、ちょっとどうなのかなと思ったりもします。

もう一点ですね、今山田委員の方からもお話がありました。目標の380人にするために、もう少し戦略的に動いた方がいいのではないかと。網羅的にやるのはもちろん当然ですが、例えば、発生時間帯を見ると、日中の8時から8時までが多いわけです。特に、冬になり暗くなると、夕方の事故が多いというのは、もう分析的に、誰もがわかっているわけです。また、お年寄りの交通事故等も、あんまり黒っぽい服を着ていると、車のドライバーから見えにくいので、高齢者は赤白とか、明るい色を着て目立つように歩きなさいとか、本当にきめ細かなところの、注意をしていかないといけないと思います。

今まで通りの戦略では、区民任せ・ドライバー任せっていうのでは、せっかくこういう協議会

があるわけですから、もう少し戦略的にやるべきと思っています。いつも、子供とお年寄りの方に焦点を当てて、検討いただいていると思います。学校や地域において、下校するとき、交通安全週間のときは、場所にいていただいたりして危ないところを、気をつけるようにしています。

特に文京区の場合、坂が多いので、坂を自転車でスピード出して、降りてきて、私たちは一回止まりますが、そのまま回る人がいたりします。地形的にも、危ない箇所がたくさんあります。

大阪の方では、子供の看板とかで、ここ危ないみたいなの、やっているところあります。そんなものをつけるとか、シールのようにして貼るとか、危険な箇所を子供たちやお年寄りの目に触れるような形で、出会い頭は危ないというところを、戦略的にもっと見せていく必要があります。目に触れさせるっていうか、意識してもらうための努力が必要かなと私は思っています。いかがでしょうか。

(事務局)

ありがとうございます。

ご指摘の通りです。自転車については、小学校、例えば3年生ぐらいから乗り出すという統計もあるので、文京区では、それに合わせての交通安全教室をやった後に、運転免許証の配付をやっています。

そういった活動もコロナ禍の中で、少し縮小していた経過もございますから、今後そういったものも積極的に行って、またやり方についても工夫していければと思っています。

それから、夜間は冬場になってきますと、日が落ちるのが早くなって、なかなか暗くて事故が増えやすいという統計もございますので、反射材の配布もですね。積極的に行っていきたいと思えます。その効果の周知啓発についても、力を入れていきたいと思っております。

それから、危険な箇所の看板につきましては、区道については当然我々の責任の中で、ご連絡いただいところは、積極的に周知の看板を設置しています。国道等についても、関係機関と協力しながら、危険な場所には、周知の看板を設置するというのもやっていきたいというふうに考えております。

【品田委員（文京区議会文教委員会委員長）】

ありがとうございます。コロナ前に戻して、積極的にいろんなセミナーや子供たちへの指導をしていただきたい。危険な箇所の点、今でもついていますけど。パッと見てすぐわかるっていうのは、子供のイラスト等で危ないよとか、わかりやすい看板等をやっている自治体があります。すごくいいと思います。ああいう何か本当に「ここ危ないよ」って、もう瞬時に分かるようなものを、ぜひ、子供たちの例えばポスターを貼るとかね、どんな形でもいいかなと思いますけど、何かちょっと工夫していただければと思います。よろしくお願いします。

(成澤会長（文京区区長）)

他にご発言ございますか。

はい。

山本副議長。

【山本委員（文京区議会副議長）】

ある交通安全のお話ですね、日本で初めてパリダカールラリーに出た方のお話でございまして、交通安全はいろいろ注意しなきゃいけない点がありますが、私が一番これはいいことだなと思ったことをご披露させていただきます。

子供たちに対する安全教育ですが、信号を渡るときとか、道路を渡るときに、手を挙げること

とか、また右左注意するとか、いろいろあります。その中でも特に、歩行者である子供や大人は、ドライバー、運転手さんの目を見ることと。渡るときに目を見ること。目を見ることで、必ずお互いの意識が通じると。この1点、いいことだなと思ったので、これだけご披露して終わらせていただきます。ありがとうございます。

(2) 報告事項 令和4年秋の文京区交通安全運動の実施結果概要（資料第2号）

・事務局より資料第2号の説明

【質疑】なし

(3) 審議事項 令和5年春の文京区交通安全運動の実施について（資料第3号）

・事務局より資料第3号の説明

【質疑】

【千代委員（文京区立女性団体連絡会会長）】

文女連の千代と申します。

2 ページ2 の (1) ですが、運転中のスマートフォン等の使用の危険性についてあります。歩行者も、歩きながら、集中しているととても危険なので、そここのところも入れていただくことは可能でしょうか。

(事務局)

はい。ありがとうございます。おっしゃる通りだと思います。歩きスマホにつきましては、実施要領の見開き一番左上の子供をはじめとする歩行者の安全、歩行者の安全の確保があります。こちらに、歩きながらのスマートフォンの利用の危険と交通安全意識の向上を進めましょうということで、記載してございます。歩行者のスマートフォンについても注意喚起を図っていきたいと考えてございます。

【千代委員（文京区立女性団体連絡会会長）】

あともう一つよろしいでしょうか。

その見開きの3 ページのキックボードのところですが。電動キックボードはいろんな種類があって、2人乗りもあると。重たい荷物や大きいリュックを背負っていたりすると、バランス崩して危ないっていうことも聞いています。多分、レンタルの場合は保険等に入っていると思うんですけども、個人所有の方に対して、保険に入る義務とか、あとパンクしたときに、キーを切って、歩道歩いていいとかそういう細かいルールっていうのはどこで知ればいいのか。

また、YouTube等で見ると、保育園とか幼稚園のお迎えに、近くて便利で、簡単でお迎えにいいですよと安易に案内するような動画が出ているようです。そういう事例があると、子供に正しいルールを知らせて、2人乗りのこういう電動には普通2人乗りは駄目ですよとか、こういうのには乗っていいですよとか、子供に教育していただきたいなと思います。

1回、富坂下の交差点で見ましたが、結構、体重のある方が、車が来ないからって言って、逆走しているのを見たものですから、何か、ルールを守らないで、ただ簡単なだけっていうことで、急激に普及していると思いますが、ぜひ小さい子どものうちから正しいルール等の教育や保険に入る義務とか、そのあたりはどうなっているのか教えていただきたいと思います。

(事務局)

ありがとうございます。

先ほどご説明した参考資料の2の通りですね、今、ルールも四つぐらいございまして、なかなかわかりにくいということがございます。そういった点も含めて、正しいルールを周知啓発していきたいと考えてございます。

保険については、どのルールであっても義務化になります。ですから、そういったことも周知していきたいと思えますし、当然国や都、それから警察の皆様とも協力していきますし、事業者ともですね、意見交換しながらですね安全に対する周知啓発については、今後、研究、検討しながら進めていきたいと思っております。

(成澤会長 (文京区区长))

はい。品田委員。

【品田委員 (文京区議会文教委員会委員長)】

はい。私もキックボードの危険性はよく目にします。

レンタルのものが、ここの役所の下の反対側のところにもあります。電動キックボード交通ルールの参考資料の2を見ますと、自転車専用通行帯は走ってはいけないって書いてありますが、見るとほとんど走っていますね。

車道の外、いわゆる自転車道を走っているのをまず見たことないのと、下手すると歩道に乗り上げてきて、少しでも近道を通るため、右行ったり左行ったりしながら、走っているの、この徹底はもうちょっとしないといけないと思えます。今、自転車と歩行者でも危ないのに、キックボードは多分スピードがもう少し出ると思うので。ここは徹底していただきたいなというふうに思っています。

それから、ずっと言っていますが、この前の再開発側から区民センターに渡る白山通りの幅が広くて、青になっている時間がものすごく短いです。私たちが、健康の私たちがスタートしてもやっと向こうに着くころにもピーポなんて点滅するような形です。障害者や車椅子の方が、横断歩道を渡るケースがたくさんあります。私、昔から言っていますが、本当は地下にコンコースでいけると一番いいですが、今それが無理なので、そういうお体の不自由な方は2回でいいから渡り切りたいとかあると思えます。

車道分離帯ですか、真ん中に安全な地域をつくっていただいて、2回で渡るとか、そういう工夫をしていただきたいってずっと。六建さんや、万世橋さんに言っていますが、なかなか通じないっていうか、そういう箇所が多分あるというふうに思っています。自分の身を安全にしながら、2回で渡れば、大丈夫なところを無理してこう渡ると、結局何か私たちがこうやって、待っていてあげてくださいみたいなポーズを取らないと、車は待ってもらえないとかいうのがあります。

そういう箇所をもう1回点検いただいて、車椅子でも、あと足の御不自由な方でも、青で完全に渡れる、それが無理なら2回で渡るっていう、そういうところをぜひ点検いただいて、改善策をとっていただけるようお願いいたします。

(事務局)

まず、電動キックボードの件でございますが、先ほど参考資料の2でご説明した中のレンタルの事業者については、左から2番目のところに該当する形に現在なっていて、ただ、一般の方から見ると個人所有のものも、そのレンタルのものわからないというところで、一応7月1日から道交法が改正されて、右側の二つに完全に分かれるということはもう決まったようですので、その辺も見越しながらですね周知啓発、努めていきたいと思っております。

事業者とも、交通安全に関する意見交換等はしていきたいと思っていますので、協力しながら行ってきたいと思います。

それから横断歩道の距離が長くて青信号で渡り切れないっていう話は、それぞれ個別の場所でお伺いしていますので、また改めてその道路管理者ですとか、交通管理者と相談しながらですね適切に対応していきたいと思っていますが、場合によってはですねその交通管制上なかなか難しいところもあるようでございますので、その辺はできるところできないところがあるのかなというふうに思っています。

【品田委員（文京区議会文教委員会委員長）】

ちょっと今のご発言ですが、やっぱり世の中、車が中心ですよ。警察にも、車よりも、歩行者とか人、人を大事にしてもらって、交通事故は人を大事にしないと絶対に減らないと私は思っています。車はアクセル踏んで行けるわけですから、もう少し人や子供やお年寄り、障害者にももう少し温かい目で、できないことはできませんって言わないで。できる方法を、ぜひ検討していただきたいをお願いします。

（事務局）

すいません言い方悪くて失礼しました。

交通安全協議会の場でございますので、当然その交通事故の防止とか、歩行者の安全を守るという観点からですね、関係機関の皆様とも協議していきたいと思えます。

（成澤会長（文京区区长））

それでは、令和5年春の文京交通安全運動の実施について、及び実施要領については、原案の通り決定することといたします。以上で議事は終了でございます。

せっかくの機会ですので、何か情報提供等ございましたらここでお願いをいたします。よろしいですか。

それでは、第2回文京交通安全協議会を閉会とさせていただきます。

ご協力ありがとうございました。

3. 閉会

- ・成澤会長（文京区区长）により閉会